



参院選「市民と野党の共同」が確かな効果 前回比9増の11の選挙区で勝利 都知事選も「市民と野党の共同」で 「政治とカネ」に清潔な都政を

参議院選挙の結果とCU東京

7月10日投開票の参議院選挙にCU東京は「戦後最大の憲法の危機に対して憲法と労働者の暮らしを守る闘いに総力を挙げ、重大な政治戦となる参議院選では『野党と市民の統一候補』を支持して当選のため活動します」の方針で臨みました。

改憲勢力が3分の2占める、一方「市民と野党の共同」が確かな効果

結果は、改憲勢力が3分の2の議席を占め、改憲発動が可能となる重大な局面が生まれました。一方で、「市民と野党の共同」が確かな効果を上げ、集中的な「反共攻撃」のなかで、前回比9増の11の選挙区で勝利しました。

得票数でも「共闘」の効果が鮮明です。選挙に「勝利した」安倍首相は「アベノミクスの加速」を明言、財界向けの「大型公共事業」のばらまき、「残業ゼロ法案」などの規制緩和の促進が危惧されます。CU東京は、「国民は改憲の白紙委任はしていない」「働くルールの確立」「最低賃金の大幅引き上げ」「セーフティネットの確立」など、運動を強化し、市民と野党の共同の力を強めます。「無法な働き方」から労働者の「尊厳」を守る労働組合の役割と存在感を広げる取り組みを強化します。

都知事選 鳥越俊太郎氏が出馬表明

ジャーナリストの鳥越俊太郎氏が12日、都知事選（31日投票）への立候補表明し、「住んでよし、働いてよし、環境によし、三つのよしの東京」の実現に誠心誠意取り組みたいと述べました。4野党が支援の確認、民進、共産、生活、社民の野党4党は国会内で幹事長・書記局長会談を開き、鳥越氏を各党が支援し、勝利のため全力を尽くすことを確認しました、

立候補にあたっての基本的立場

鳥越氏は立候補にあたり、基本的立場とし次の3点を語りました。①2代続けて知事が「政治とカネ」の問題で途中辞任を踏まえ、納税者意識を受け止めた都政運営を。②公共事業偏重をやめ、待機児童や介護問題の解決など都民の暮らしを優先する。③国政の憲法「改正」の流れに歯止めをかけるため東京から発信する。

東京地評が鳥越氏推薦

7月14日東京地評は鳥越氏を推薦決定しました。同日「革新都政実現をめざす労働者連絡会」が開かれ鳥越氏推薦を決めました。CU東京は東京地評に結集し、格差のない社会、「働いてよし」の都政めざし、鳥越氏を推薦し当選めざし奮闘します。



会談後記者会見（左から）又市、枝野、鳥越、小池、川島の各氏=12日、赤旗より転載



都知事選出馬を表明。鳥越俊太郎氏（12日）読売より転載



鳥越氏推薦 7.14革新都政実現をめざす労働者連絡会

解決手段は団体交渉がダントツ 2015年度CU東京の労働相談

労働相談体制の一層の強化を



川村好正副委員長

「CU東京の2015年度の労働相談を川村好正副委員長がまとめ、大会に報告」

2015年4月から2016年3月までの労働相談結果は、文京、足立、千代田・中央、渋谷、江戸川、江東、港、品川、練馬、葛飾、三多摩の11支部で合計290件でした。年間労働相談件数は、集計を取り始めた2011年度が295件、2012年度が279件で、昨年の274件より増えています。今年度新たに支部として労働相談活動を開始した三多摩を除いても全体の相談件数は昨年より増えました。相談件数の増減を支部ごとに見ると、文京(10→14)、足立(15→30)、千代田(20→16)、渋谷(26→10)、江戸川(21→38)、江東(111→102)、港(40→48)、品川(9→9)練馬(12→9)、葛飾(10→8)、文京、足立、江戸川、港の相談件数が増えています。各支部とも労働相談体制の一層の強化が望まれます。

労働相談者の組合加入率は、36.6%

労働相談者の組合加入率は、2011年度35.2%、2012年度36.9%、2013年度54.9%、2014年度54.1%、2015年度が36.6%で2012年の水準に下がりました。労働相談の解決率は、2011年度が18.3%、2012年度が20.8%、2013年度が18.9%、2014年度が23.4%で、2015年度が23.8%で解決率は昨年と

同水準です。相談者の年齢は30代から50代に集中しているのは例年通りですが、今年度は30代が増えたのが特徴です。

「労働契約・賃金労働条件」が第一位

労働相談内容は「労働契約・賃金労働条件」が今年度の第一位、「解雇・雇止め・退職強要」と「嫌がらせ・イジメ・セクハラ・パワハラ」が第二位で、「賃金未払い・残業代未払い」が第四位という結果でした。今年度は「健保・年金・雇用保険」が増えました。社会情勢の反映と言えます。

相談は「組合員の紹介」が一位

相談経路は、「全労連ホットライン（労働相談ホットライン）」「組合員の紹介」「労働組合」「民主団体・政党」が上位を占めるのは例年と変わりません。今年度も「組合員の紹介」が一位です。組合員の連帯活動が前進していると見るべきでしょう。ビラ・チラシは例年4%～6%を占めていますが、今年度は2.1%でした。ネット経由は、昨年が8.8%、今年度は9.4%でした。

解決手段は、団体交渉がダントツ

解決手段は、団体交渉がダントツ、解決内容も団交による金銭和解が圧倒的でした。69件の解決のうち職場復帰は2件(2.9%)でした。労働委員会も含む法廷闘争・労働審判による解決(和解も含む)は6件(8.7%)(労働審判・労働委員会・地裁本訴の提訴件数の合計は10件)でした。

(右、3ページの支部ごとの内容・件数一覧参照)



大和ハウス工業はセクハラ、不当な監視による解雇を直ちに撤回しろ！

「白林さんさんを職場に戻せ！」と抗議および要請行動を行うユニオンちよだと区労連のみなさん。

白林さんはCUの大会に参加、支援を訴えました。



英知国際事務所前で抗議行動 矢内富雄さんの再雇用を認めろ！

6月23日、矢内富雄さんの再雇用を求め、事務所前で抗議行動。CU文京支部、区労協のみなさん。

矢内さんはCUの大会に参加、支援を訴えました。

年間労働相談活動集計表(2015年4月1日～2016年3月31日) ※解決件数は進行中を除く

		文京	足立	千代田	渋谷	江戸川	江東	港	品川	練馬	葛飾	三多摩	総計	昨年	一昨年
年間労働相談件数	合計	14	30	16	10	38	102	48	9	9	8	14	298	274	244
	内組合加入者	10	8	15	2	12	38	5	4	1	2	11	108	148	134
	内解決件数	3	4	8	1	9	25	4	5	2	1	8	70	64	46
	男性	7	14	12	6	13	58	25	1	4	3	7	150	167	136
	女性	7	8	4	4	17	40	23	8	4	5	7	127	93	103
	性別不明	0	8	0	0	8	4	0	0	1	0	0	21	9	5
	10代	0	1	0	0	0		0	0		0	0	1	0	1
	20代	0	0	1	2	6		5	0		0	2	16	13	17
	30代	5	3	8	1	5		17	6		2	3	50	30	47
	40代	4	0	2	4	18		2	2		4	3	39	49	33
	50代	4	4	5	2	5		5	0		0	3	28	45	38
60代	1	5	0	1	4		12	1		1	3	28	16	16	
70代以上	0	1	0	0	0		0	0		1	0	2	1	2	
年齢不明	0	8	0	0	0		7	0		0	0	15	1	2	
労働相談の内訳(重複あり)	①労働契約・賃金労働条件	7	2	6	3	7	31	19	2	0	0	3	80	59	55
	②解雇・雇止め・退職強要	6	1	1	4	3	32	15	3	3	2	3	73	94	84
	③賃金未払い・残業代未払い	1	3	0	2	8	14	1	0	1	2	5	37	70	54
	④リストラ・合理化	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	3	5	1
	⑤嫌がらせ・イジメ・セクハラ・ハワハラ	10	3	3	1	5	32	10	2	4	0	1	71	62	52
	⑥配転・出向など	0	1	2	1	0	3	1	0	0	1	0	9	4	9
	⑦健保・年金・雇用保険	0	1	0	0	0	7	1	2	0	0	1	12	3	11
	⑧労災・過労死	0	0	0	0	1	6	0	0	0	0	1	8	17	9
	⑨休日・休暇	0	0	0	1	0	3	0	0	0	1	1	6	19	11
	⑩産休・育休・介護・私傷病	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	4	7
	⑪福利厚生	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0
	⑫労使問題・交渉促進	0	2	0	0	1	0	0	0	0	1	0	4	2	1
	⑬組合加入・結成	0	0	0	0	0	17	2	0	1	0	0	20	18	33
	⑭会社倒産・破産(経営危機)	0	0	0	0	2	1	0	0	1	0	0	4	5	3
	⑮その他	1	1	4	1		10	6	0	1	2	1	27	12	14
相談経路	①ヒラ・チン	0	2	0	0	2	1	0	0	0	0	1	6	3	10
	②ネット	0	0	7	0	3	13	1	1	1	0	1	27	24	20
	③全労連ホットライン(含労働相談ホットライン)	3	2	0	6	5	11	18	5	0	0	0	50	47	59
	④民主団体・政党	2	9	0	0	12	9	3	2	1	5	6	49	49	44
	⑤労働相談情報センター	0	0	0	0	0	3	2	0	0	0	1	6	13	8
	⑥労働組合	5	0	0	0	1	13	9	0	1	0	0	29	22	21
	⑦組合員(紹介含む)	3	3	2	3	0	43	0	1	0	0	3	58	66	41
	⑧友人・知人	0	2	0	0	0	13	0	0	1	0	0	16	18	9
	⑨NTT調べ	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2	1	1
	⑩街頭労働相談	0	2	0	0	0	0	8	0	0	3	2	15	14	13
	⑪その他	1	2	0	1	0	4	0	0	5	0	0	13	13	10
雇用形態	①正規	11	12	13	6	19	62	16	7	5	1	5	157	146	138
	②派遣	1	0	0	1	2	9	6	0	1	0	0	20	20	16
	③契約	0	0	0	2	3	5	2	0	2	5	0	19	21	17
	④委託	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2	3	2
	⑤個人請負	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3	5	0	6
	⑥パートアルバイト	1	4	0	1	13	23	16	2	0	1	5	66	61	40
	⑦公共臨時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
	⑧労組役員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4
	⑨失業者	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	3	3	2
	⑩分類不能(不明)	0	14	1	0	0	1	6	0	0	0	0	22	14	20
解決手段	①団体交渉	2	4	5	1	6	22	2	5	3	1	8	59	46	38
	②労働相談情報センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	③労基署申告	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	5
	③労基署個別労使紛争斡旋	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	④労働審判	0	0	2	0	2	2	0	0	0	0	0	6	11	7
	⑤労働委員会	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	3	2	3
	⑥地裁提訴	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	6	5
⑦その他	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	
解決内容	①職場復帰	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2	2	3
	②団交での金銭和解など	2	4	5	1	8	10	2	5	2	1	7	47	43	36
	③労働相談情報センターの斡旋受諾	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	1	0
	④労基署による是正命令	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
	⑤労基署個別労使紛争斡旋受諾	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	⑥労働審判による調停など	0	0	2	0	1	2	0	0	0	0	0	5	9	4
	⑦労働委員会命令	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	⑧裁判による判決など(含和解)	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	3

大会を迎え、協力組合員を含め3人が加入 引き続き労働相談を重視して

6月25日CUみなと第7回定期大会開く



前大会を上回る組織人数で大会を迎える

6月25日、東京土建みなと会館でCUみなと第7回定期大会が開催されました。大会を迎える直前で協力組合員を含め3人が加入が開催されました。定期大会では池田執行委員長の大会あいさつの後、CU東京副委員長の平山さんから激励・連帯のあいさつをしました。続いて高橋書記長が、主に労働相談に伴う団体交渉による解決についての活動報告や組合員の拡大について議案の報告と提案を行いました。

労働相談に伴う団体交渉での解決が4件

労働相談に伴う団体交渉での解決は、1年間で4件。その経過と解決について報告されました。

組織拡大では大会を迎える直前で協力組合員を含め3人が加入。前大会を上回る組織人数で大会を迎えたことが報告されました。方針では、引き続き労働相談活動を重視し、協力組合員を含め組織拡大を強化していくことが提案され、確認されました。また、大会では第6期決算報告、第7期予算案、第7期役員体制が出席者全員の賛成で確認されました。新役員は、委員長池田孝治、副委員長川崎悟、書記長高橋孝、執行委員小川均、柳井清、山口利広、植松富美枝、染谷ふみ子、顧問鈴木功の各氏です。

地域の中小・零細事業所との共同など、さらに一歩踏み出した活動を期待

6月29日東京土建一般労働組合と懇談

東京土建の物心正面の支援にお礼・・・CU東京

6月29日（水）午後4時からけんせつプラザ東京の応接室で、東京土建一般労働組合と懇談しました。東京土建からは白滝誠書記長、唐沢一喜常任委員、CU東京からは平山副委員長、大江副委員長、高木書記長が出席しました。高木書記長の進行で、最初にCU東京第8回定期大会の出席と激励と、この間の物心両面での支援のお礼と大会が活動の前進と組織が最高の930人で開くことができたことを報告、平山副委員長からCU東京の組織的到達と課題、この間の教訓・経験を報告、大江副委員長から三多摩協議会の発足から1年、現在160。東京土建の三多摩の各支部の支援と協力なくしてはできなかったこと。誰でも加入できる個人加盟の地域組織への理解が広がりつつあることを報告。

一歩踏み出した活動へ期待・・・東京土建

白滝書記長は、土建のこれまでの活動や組織拡大の経験を述べ、地域の中小・零細事業所のみなさんとの共同など、さらに一歩踏み出した活動へ期待したいとのべ、ひきつづき物心両面支援していきたいと話しました。また、個人加盟の地域組織の労働組合の全国的な展開などにも話題が広がり、和やかに懇談しました。



左から高木書記長、土建白滝書記長、平山、大江の両副委員長

■歴史的な参議院選挙の結果を受け、都知事選挙の真っ只中での機関紙づくりになりました。市民と野党の共同が新たな状況を切り開きました。■都知事選挙も劇的な共同の候補者の擁立になりました。鳥越氏の記者会見は多くの人の心に響いたのではないのでしょうか。■2015年のCU東京の労働相談がまとまりました。担当副委員長の川村さんは相談解決は労働組合の力・団体交渉がダントツとまとめています。ひき

938人

7月15日現在の組合員です。200人増えて6月11日第8回大会を開きました。各支部の奮闘の成果です。

今年度、年内に1000人を突破しようと意気高くスタートしました。よろしくお願ひします。